

可搬型階段昇降機 【らく段】

取扱説明書



P 2 . . .	はじめに／ご使用前に
P 3 . . .	各部の名称
P 4 . . .	製品の仕様／操作者の条件／各部の材質梱
P 5 . . .	包物
P 6 . . .	製品の組み立ての手順
P 7 . . .	製品の折り畳みの手順
P 8 . . .	使用方法（昇降前の準備手順／昇り手順）
P 9 . . .	使用方法（降り手順）
P 1 0 . .	バッテリーと充電器の注意事項
P 1 1 . .	バッテリーの特性と製品仕様
P 1 2 . .	バッテリーの操作と表示

■はじめに

本書は、らく段の所有者の方及び、ご使用者の方へ必ずお守り頂きたいこと（安全上の注意事項、必ず実施頂きたいこと、取扱いの注意事項）を記載致しております。

- ご購入時のご使用前には必ず良くお読みいただき、正しくご使用ください。
- 本書は必要な時にすぐに読めるよう、お手もとに大切に保管下さい。
- 本書の内容について、ご不明な点、ご理解いただけない点がある場合は、当社または販売店まで

お問い合わせ下さい。

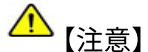
■ご使用前に

出荷時には、十分な検査をしておりますが、ご使用前に点検をお願い致します。
部品の破損、ボルト・ナットの脱落はないか、ガタつきや不具合はないでしょうか。 点検をお願い致します。
らく段の商品や付属品をご使用になる前に、気になる点がございましたらご連絡をお願い致します。



【警告】

- らく段は、人を乗せて階段を昇降するものです。本来の目的以外には使用しないで下さい。
- らく段を使用の際は必ず介護者とは別に、2名でご使用ください（別紙にて使用方法をご覧ください）
- 故障、異常のある時には、使用しないでください。
- 雨天時や、路面がぬれている場合は、使用しないでください。滑り落ちる可能性があります。
- モーターやバッテリーの発火の恐れがありますので、火の元へは近づけないでください。
- 最大積載量が140kgを超えてのご使用はおやめ下さい。
- 特殊は階段などのご使用はおやめ下さい。（らせん階段や、脚立等）
- 長時間ご使用にあたり、バッテリーやモーター等、熱くなった場合はご使用をおやめ下さい。
- らく段が収まらないサイズでの階段での使用はおやめ下さい。（別紙にてサイズ記載）



【注意】

- 車椅子でのご使用の際、溝や長い昇り降り坂でのご使用は危険です。
- エレベーターを使用の際、ドアのすきまに車輪が落ち込まないか必ず確認してください。
- 定期的に、点検・清掃・整備をして下さい。

ボルトやナットの緩み・脱落、フレームのゆがみ、ガタつき、クローラーの摩耗や劣化、泥やほこりなどはぬれた布でふき取って下さい。あと乾いた布で拭いて下さい。

- 保証書・・・保証期間は1年間です。但しバッテリーは6カ月となります。大切に保管をお願い致します。（別紙）
- アフターサービス・・・万が一故障や不具合がございましたら、お買い上げいただいた販売店

または弊社まで恐れ入りますがご連絡をお願い致します。

	安全にかかわる注意情報を示してあります。
警 告	取り扱いを誤った場合、死亡・重傷・障害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注 意	取り扱いを誤った場合、物的障害の発生が想定される場合を示してあります。

■らく段 各部の名称



- リモコン(昇降時用)
ボタン・・・降りる
右ボタン・・・昇る
●・・・暗闇時のLED点灯ボタン
・・・リモコン電源ボタン

電池残量

スピード計 +速く -遅く



- 昇降時用ハンドル（伸縮性）●ヘッドレスト

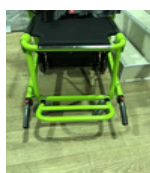
バックレスト

- 背もたれシート
- アームサポート
- 安全ベルト

- 座面シート

- 本体フレーム

- フットサポート（折り畳み式）



- 助手用ハンドル（伸縮性）



- 昇降時用ハンドル調整レバー

- 平坦面用ハンドルレバー

- クローラー

- クローラー用フットレバー（畳むとき用）

- 前輪タイヤ

- クローラー用ハンドレバー（出すとき用）

- 後輪タイヤ（ブレーキ付き）



リチウムイオンバッテリー
装着時拡大図



- リチウムイオンバッテリー

- バッテリー盗難防止用鍵

- 専用充電器

■製品の仕様

品 名	可搬型階段昇降機 【らく段】
品番	A D－W5WGW5WH
本体サイズ (高さ×幅×奥)	使用時：108×52×102 (cm) 収納時：108×52×27 (cm)
重量	約27kg
搭乗人数	1名
最大荷重	利用者体重最大約120kg
昇降速度	歩行45歩／分 (高速時目安)
モーター	D C 2 4 V
バッテリー	D C 24V 13A h
充電時間	最長約5時間 (使用状況による)
標準付属品	バッテリー (着脱式)／専用充電器／盗難防止用鍵 (2個) ヘッドレスト

※品質向上の為、予告なしで仕様変更の場合があります。

■操作者の条件

※操作者の条件	
操作人数	計2名 (リモコン操作1名＋足元にて助手1名)
年齢	16歳以上70歳以下
身長	150cm以上
体重	45kg以上
病歴	発作性で病気などで倒れたことのない方
四肢の状況	両手・両足が不自由でない方
視覚障害	視覚や聴覚に問題のない方

※操作をされる方は、必ずご購入前に当社又は代理店の注意事項の説明を受けられた方のみとします。

■各部の材質



梱包時



使用時

・本体フレーム	アルミニウム合金／鉄
・座面シート／背もたれシート	A B S樹脂/ポリエステル
・ヘッドレスト	オックスフォードレザー
・各ハンドルカバー	ポリウレタン系樹脂
・前輪／後輪	ゴム／プラスチック／鉄
・クローラーベルト	合成ゴム

■梱包内容

●ご購入後、下記の商品が入っているかご確認をお願い致します。

●らく段本体



※畳んだ状態

●六角レンチ（ベルト調整用）

●専用充電器／リチウムイオンバッテリー／盗難防止用鍵２個



●ヘッドレスト



●小物入れ（バッテリー・充電器・ヘッドレスト・・・）



●取扱説明書（本書）

●品質保証書（購入年月日と製品番号が記載されたもの）

記載無きものは保証出来ない場合がありますので、必ずご確認をお願い致します。

■製品の組み立ての手順

図 1



図 2



図 3

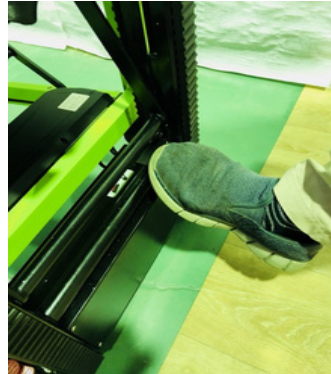


図 4



図 5

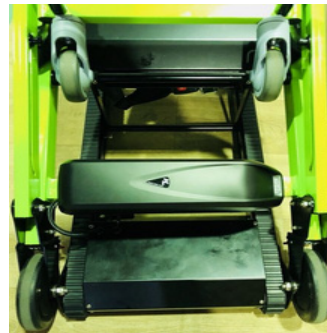


- ①平坦な場所で立てた状態にし、左右共にキャスターのロックがONになっていることを確認して下さい。
- ②図1の①シートベルトを外し、矢印の方向に引くと座席が開きます。(前側)
- ③図2の②クローラーベルト広げます。図3右下にあるレバーを踏むとベルトは開きます。
- ④図4の③平坦面用ハンドルを矢印の方向にカチッと音がするまで上へあげて下さい。(後側／左右共に)
- ⑤図2の④の黒色のハンドルレバーを押しながら、図5昇降時用ハンドルを矢印の方向に持ち上げて高さ調節を行って下さい。
- ⑥図6の様にヘッドレストを取り付けて下さい。
- ⑦図7の様に充電済の専用リチウムイオンバッテリーを装着すると組み立て完了です。

図 6



図 7



<組み立て完成写真>



■製品の折り畳み手順

图 2



A close-up photograph showing a person's hands adjusting the resistance knob on a yellow and black stationary bike. The bike is positioned on a light-colored wooden floor.

图 5



- ①左右共にキャスターのロックがON になっていることを確認し、ヘッドレストを外して下さい。
- ②図1 ①の黒いハンドルレバーを押して、②昇降時ハンドルを一番下までさげて下さい。
*ハンドルには手を添えてください。
- ③クローラーは、図2 の様にレバーを手または足で下へ押しこむと折り畳むことができます。
(この時、足で操作する場合手は挟まれないように十分注意して下さい。)
- ④座面シートの畳み方は、図3 の様に座席の下の黒いレバーを手前へ上げると畳むことができます。図4
- ⑤折り畳んだ後、本体を寝かしバッテリーを右側へ押し手前へ引くとはずせません。図5
(勢いよく押すと手前へ落ちることもありますので十分に気をつけてください)
- ⑥折り畳んだ後、平坦面用レバーとフットサポートを折り畳めば、右下図の様にコンパクトになります。
＜広げた状態＞ ＜折り畳み完成写真＞



■使用方法（昇降前の準備手順／昇り手順）

＜昇降前の準備手順＞

- ①キャスターのロックがONになっている事を確認して下さい。
 - ②人を座面シートにしっかり座らせ、シートベルトを装着して下さい。
（たるみがなく、また締めすぎないように、体に合わせて調整して下さい。）
 - ③ヘッドレストが介護者の後頭部の位置へくるよう高さ調節して下さい。
 - ③フットサポート（足置き）に足を乗せて下さい。
 - ④アームサポート（肘掛け）を出して下さい。
 - ⑤十分に充電されたバッテリーの電源をONにします。
 - ⑥リモコン操作の電源をONにします。
- ※必要に応じて、夜間や暗い階段などでは足元などを照らすライトをお使いください。

これで準備は完了です。



＜昇り手順＞■下記の内容は主にリモコン操作人への説明です。（操作する際は必ず2名で行って下さい

- ①図1の様に「らく段」を階段に近づけ、ゆっくりクローラーが階段に接着するまで倒して下さい。
- ②図3の操作ボタンの右ボタン「上がる」を押すと、クローラーが回転し、昇って行きます。※ボタンを放せば止まります。
（この時、図2の様に補助者は補助用のハンドルで、必ず補助して下さい。）
- ④昇りきると、らく段を起こした際に前輪と後輪が水平になるまでそのまま下がってください。
※前輪が一段でも下で着地すると、階段から落下のする危険がありますので必ず図4の様に、補助者が前輪が後輪と水平に着地できる事を確認してから、起こして下さい。）

図1



図2



図3



図4



■使用方法（降り手順）

＜降り手順＞■下記の内容は主にリモコン操作人への説明です。（操作する際は必ず2名で行って下さい）

- ①図1の様に、「らく段」の前輪が落ちないように確認しながら階段に近づけ、ゆっくり倒して下さい。
- ②倒したまま、図4のリモコン操作の左ボタン「下がる」押すと前に進み、階段とクローラーが並行に沿うようにゆっくり進んでいきます。※ボタンを放せば止まります。
- ③図3のように下まで降りた際、クローラーが一番下の段に接地したことが確認出来れば、起こすことが出来ます。

図1



図2



図3



図4



■バッテリーと充電器の注意事項



警告

～バッテリーの取り扱い中 感電や火災を防ぐために～

- ・バッテリーケースに損傷や傷がある時、または異臭がする時は使用しないでください。
(異常を感じたら、すぐに販売店または弊社までご相談下さい。)
- ・バッテリーに水をかけたり、水の中に入れないでください。発熱、発火、破損、故障の原因となります。
- ・バッテリーを分解・改造はしないでください。
- ・バッテリーを火中に投入したり、過熱はしないでください。発熱、発火、破損、故障の原因となります。

～充電器の取り扱い中 感電や火災を防ぐために～

- ・充電器を他の電気機器等に使用すると、火災や破裂の原因になりますので使用しないでください。
- ・充電器を水で濡らしたり雨中で使用しないでください。感電や火災の原因になります。
- ・電源プラグを根元まで確実に差し込んで下さい。
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。
- ・コードの上に物を乗せたり、はさんでの固定はしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・濡れた手で電源プラグを取り扱ったり、充電端子に触れたりしないでください。感電するおそれがあります。
- ・コードを束ねた状態で使用したり、充電器本体に巻きつけて保管しないでください。
コードの損傷により火災や感電の原因になります。
- ・充電器を落としたり、衝撃を与えないでください。発熱・発火・破損の原因となります。

～充電中 感電や火災を防ぐために～

- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないで下さい。
たこ足配線などで定格を超えると発熱により火災の原因となります。
- ・充電中は長時間、皮膚を充電器の同じ場所に触れさせないでください。低温やけどのおそれがあります。
- ・幼児やペットが触れるところに放置しないでください。感電や火災、故障の原因になります。
- ・充電中に周囲にカバーしたり、上に物を置かないでください。内部が発火し、火災のおそれがあります。
- ・ガソリンなどの引火物や引火性ガスの近くでは充電しないでください。火災や発熱などの原因となります。
- ・電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いて下さい。湿気などの絶縁不良となり、火災の原因になります。
コードが損傷している時は使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

■バッテリーの特性と製品仕様

らく段は、リチウムイオンバッテリーを装備しております。

このバッテリー：リチウムイオンバッテリー 13Ah

リチウムイオンバッテリーは軽量で電池容量に優れたバッテリーですが、以下の特性があります。

- ・過度の暑い環境／寒い環境で性能が低下する。
- ・使用していなくてもわずかず放電する。
- ・バッテリーの残量にかかわらず、充電できる。
- ・満充電のバッテリーを繰り返し充電すると劣化が早くなる。

※充電に適した環境

過度に暑い場所や寒い場所では正しく充電できないことがあります。以下の充電に適した環境で行って下さい。

- ・温度が15～25℃の室内
- ・雨や水にぬれないところ
- ・直射日光に当たらないところ
- ・風通しがよく湿気がないところ
- ・幼児やペットが触れないところ

※バッテリーの寿命と交換

バッテリー容量は充放電を繰り返し（700～900サイクル）行くと、新品の時の約半分にまで低下します。また長期間保管している時も、わずかずつつですが、バッテリー容量は低下します。

バッテリー容量が低下すると、一充電当たりの走行距離が短くなります。充電しても回復の兆しがなければ、交換時期です。

出来るだけ早めのバッテリーを交換して下さい。

なお、この場合の交換は有料となります。

※充放電の「1サイクル」とは、満充電したバッテリーをバッテリー残量が0（ゼロ）になるまで使用し、再び満充電にする一連の工程をいいます。

※バッテリーの交換時のお願い

リチウムイオンバッテリーは資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）で、使用後の回収および再資源化が義務付けられています。交換したバッテリーの回収は、ご購入の販売店または弊社にご依頼下さい。



※バッテリーの充電方法

- ①充電器とバッテリーをつなぎます。
 - ②コンセントを差し込みます。
 - ③バッテリースイッチをONにする。
（充電器のランプが赤から黄緑色に変わると、充電が完了です。）
- ※年の為、バッテリー本体のメモリでも

ご確認ください。

蓄電池	品番・種類	JG2413 リチウムイオンバッテリー
	定格電圧	D C 2 4 V
	定格容量	1 3 A h
	電源	A C 100-240 V 50-60 H z
	消費電力	D C 4 2 . 0 V 2 . 0 A
	充電時間	約 5 ～ 8 時間

※充電時間は、お買い求めいただいた「らく段」に装備されているバッテリーと充電器を使用して、バッテリーの残量ランプの1灯点滅まで使用した時、満充電までのおおよその時間です。
バッテリーの種類および充電器の種類によって充電時間は異なります。

■バッテリーの操作と表示

＊バッテリー本体の表面には下記の様にボタンとメモリがあります。

右端にありますメモリの中央ボタンを押すと、充電残量を示すランプが灯ります。（離すと消えます）

【参考】 4つのランプが灯り、緑3個で満充電できてます。
電池が減少すると緑のランプが1個ずつ消えていきます。
満充電だと約60Kg荷物で約1,000段程度使用が可能です。
赤色一つで要充電ですが 緑1個で充電される方が充電時間が早いです。

※使用状況・環境により変動します。



＊バッテリー本体の表面と裏面には下記の様にボタンや充電器差し込み口があります。



充電器差し込み口

盗難防止鍵穴バ

Rバッテリー-検査用



主電源（本体にシール表示有り）

○がON／－がOFFです。

（使用しない時はOFFにして下さい。）



本体に取付るとスイッチは真下にきます。



ボギー本体との結合部

半分凹んでる面を左側にして中央ではめ込み
左へ最後まで押し込むと装着できます。
はずす時は右へ押します。
その時バッテリーが落ちないように気をつけて
ください。

＊画像は説明上裏向けています。

■こんな時

*クローラーベルトが動かない	充電できていますか？ バッテリーが奥まで入ってますか？
*残表示が表示されない *足元ランプがつかない	充電できていますか？ バッテリーが奥まで入ってますか？
*充電ができない	バッテリーをONにして充電していますか？ 充電がおわると必ずOFFに！！

よくある動かない原因はバッテリーがキチンと最後まで入っていないことが多いです。
今一度確認をお願いいたします。

*解決しない場合は販売店までご連絡ください。



:

株式会社プラスワン

〒454-0013

愛知県名古屋市中川区八熊2丁目1-1

TEL 052-990-3406

FAX 052-212-6401